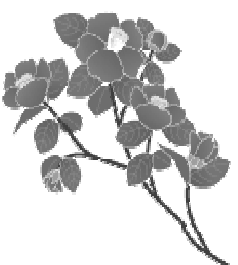


本住寺便り

（平成二十六年立春大吉号）



「苦をば苦とさとり、樂をば樂とひらき、苦樂ともに
思合て南無妙法蓮華經とうちとなへるさせ給へ」

（高祖日蓮聖人・四條金吾殿御返事）

節分も過ぎ、最上稲荷に勤める私も年末年始の繁忙期が済み、やっと一息つける新春がやって来ました。旧正月、節分、立春も過ぎ、いよいよ本格的に平成二十六年甲午歳（二〇一四）が始まるというわけです。本住寺檀徒の皆様も、新しい年をどうぞより良くお迎えください。

さて、私たち仏教徒が守らねばならない「五戒」の中に「不飲酒戒」（他の四つは不殺生・不偷盗・不邪淫・不妄語）があります。しかし、これは酒を否定したものではなく、むしろ酒の飲み過ぎが心身の正常な働きを阻害し、仏道の妨げとなる場合があることから、酒をつつしおようにとの戒めでしょう。

厳寒の身延山に生まれた日蓮大聖人も、「身のひゆる事石の如し、胸のつめたき事氷の如し、しかるにこの酒煖にさし沸して、…一度吞みて候へば、火を胸にたくが如し」と、「藥酒」を飲んで心身を温められていたのです。

また冒頭のお言葉は、四條金吾殿夫妻に対して、法華經の信奉者は、苦しい時はなぐさめあい、楽しい時には感謝し、酒を通じて夫婦で苦樂を分かちあう場を作り、夫婦和合・協力一致でお題目を唱えなさいとのお示しです。

しかし、酒をつつしまなければならぬ時は多々あります。車の運転はもちろん、酒に酔って仕事をすれば、たちまち自他の命を奪い、取り返しつかないことになるかもしれません。

とはいえ、「〇〇しなければならぬ」とばかり思っているのは、自分の心を縛り重くします。本当は「今のまま、そのまま、あるがまま」でいいのです。大切なのは本当の自分を見失わないようにすることなのです。

やさしく自分を受け入れ、酒を飲む時には楽しく飲み、和氣霽々として苦樂を分かちあい、異体同心にて南無妙法蓮華經と唱えてみましょう。

妙見山 本住寺

倉敷市真備町服部一五八七

〇八六（六九八）九七七〇

ホームページ <http://www.honjuzi.com/>

*仏事に関するご等々でお悩みやお困り事等がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

*法事のご予約はお早目をお願いいたします。
お寺の都合によりご希望される日時でもお受けできない場合がございますので、ご了承ください。

妙見山本住寺 平成二十六年 年間行事予定表



一月	五日 ～七日	新年初祈祷	本堂にて随時祈祷を受けることができます。(お善哉と金運茶のお接待)
二月	三日	節分豆まき	福豆がもらえるかも？
三月	二十一日	春のお彼岸(10時～)	本堂にてご先祖さまの供養をいたします。(卒塔婆供養は別途受付)
四月	三日 十三日 二十九日	開山大覚大僧正御命日 春の妙見さま(旧三月十四日) 花まつり(10時～) 梵鐘撞き初め式 ※総代世話人会(昼食付)	本年は第六五一回忌です。 妙見堂にて遠田講中の皆さまとお経をあげます。 お花と甘茶を誕生仏に捧げます。 今年は、鐘楼に新しく吊られた梵鐘の撞き初め式を併せて執り行います。(甘茶とお菓子的お接待有)
五月	十一日	境内清掃(2班 谷本・金谷)	
六月	二十一日	観音経写経 納経会	書きためたお写経をお清めして御宝前へ納めます。
七月	十三日	境内清掃(3班 吉則・玉島)	
八月	十日 ～十五日	お盆のお経回り	皆さまのお家へお盆のお経に参ります。
九月	七日 十四日 二十三日	秋の妙見さま(旧八月十四日) 境内清掃 (4班 有井・呉妹・二万) 秋のお彼岸(午後2時～)	妙見堂にて遠田講中の皆さまとお経をあげます。 本堂にてご先祖さまの供養をいたします。(卒塔婆供養は別途受付)
十一月	九日	境内清掃(5班 遠田)	
十二月	三日 二十日	御会式(旧暦十月十二日夕) ※総代世話人(回向袋) 観音経写経 納経会	日蓮聖人のご命日にあたり、本堂にて法要を行います。(お接待有り) 書きためたお写経をお清めして御宝前へ納めます。

◆◆◆ 本住寺 信行会 ◆◆◆

本住寺では、月に一度、お題目を中心にお経や作法を楽しく実践する『信行唱題会』と、本堂で心静かに観音経のお写経をする『観音経写経会』を開催しております。初心者歓迎！どなた様でも簡単に参加いただけますので、興味がある方は是非お気軽にお越しください。

信行唱題会 毎月第2金曜日 午後2時より
観音経写経会 毎月第3土曜日 午前10時～午後7時